

史学関係受贈雑誌論文目録

〔昭和三十五年六月以前補遺〕

埼玉大学紀要 八卷 (三月)

社会科学編 (歴史・地理学)

関東地方の条里 三友国五郎

関東東平野西部の条里遺蹟 村本 達郎

国際平和機構としての欧洲協調 深見秋太郎

マッテオ・リッチと榎木素 矢沢 利彦

名古屋大学文学部研究論集 (二)(三)(三月)

往生伝の研究 重松 明久

空中写真撮影記録 5 (三月)

和泉久米田寺文書 (三月) 建設省国土地理院

大阪府文化財調査報告第九輯 大阪府教育委員会

大阪経大論集 二八号 (六月号)

〔論考〕

近世中期における土地所有の移動

風土記逸文の検討追考

〔資料・紹介〕

R・L・ネルソン『アメリカ産業における企業合同運動』(一九五一年)

メディチ銀行の経営活動について

東洋学報 四十三巻一号 (六月号)

〔論説〕

戦国前期における尚書の展開

中期蒙古語の諸問題(上)

と村山書簡との合致を中心として

〔批評と紹介〕
西晉の田制賦税に関する近年の諸研究

補農書をめぐる諸研究(上)

雲南省博物館編 雲南晉寧石

雲南古蕃群究掘報告

金谷治著 秦漢思想史研究

台湾銀行経済調査室編

十七世紀台湾英国貿易史料

フォックス英国の提督と中国の海賊

小野川秀美著

清末政治思想研究

エンダゴット著香港港史

李羅英著 朝鮮問題研究所訳

朝鮮民族解放斗争史

松田寿男著

古代天山の歴史地理学的研究

ド・フラーフ著 マタラム王

スルタン・アゲン(一六三三—一六四五)及びその先王(一六〇一—一六三三)の治世

アンサーリ著 ウツタル・プ

ラデーシユにおけるムスリム

・カースト

北大史学 七号 (六月号)

アンシアン・レジーム期の

「共同地」分割について

「ナミュールにおける一七七三年の

「共同地」分割」

国領保存の一形態

「保」を中心として

鎌倉期における中流貴族の思想的基調研究ノート

「明月記」にみる藤原定家ポーランドの貴族共和制研究 動向

越智 重明

田中 正俊

市川健二郎

山田 統

生田 滋

坂野 正高

市古 宙三

内田 直作

山辺健太郎

鳴崎 昌

永積 昭

高畠 稔

吉田 弘夫

大谷 陽一

福田美也子

鳥山 成人

維新史研究上の二・三の問題 永井 秀夫
—大江志乃夫氏の新書によせて—

〔昭和三十五年七月〕

紀州経済史研究叢書 第10輯 和歌山大学

和歌山県における初期社会主義運動(2) 関山直太郎

—牟婁新報時代の小田野声と豊田孤寒— 長崎大学

魏晉百官世系表 第一冊 矢野主税撰 史学会

岐阜史学 29

美濃陶器業近代化に関する一考察 大脇 郁夫

—土岐郡下石村を中心として—

三乃国虫見聞百話(12) 小川 栄一

地名の話 森 義一

尾張藩重臣石河家の由来(2) 大橋 二郎

八代將軍吉宗の享保町歩人口調査 足立 直次

調べ

古代 三五号 早稲田大学考古学会

千葉県香取郡檜崎貝塚 西村正衛・金子浩昌

八王子市宇津貫町閑道第二号 早稲田高等学

寮址 院歴史研究部

新潟県引越遺跡出土の土器 寺松 光晴

史迹と美術 三〇五

因幡岡益の石堂 川勝政太郎・山田 幸

京都祇園会月鉾の車について 近藤 豊

京都の三葉師と亀葉師 田中 重久

統・国東型宝塔に就て(中) 望月 友善

史林 43巻4号 史学研究会

唐代の塩商 横山 裕男

トゥーキュデイデースの歴史記述の意図 Krifa et al. 永井 康視

公田について
最澄の論証を通じて見た南都
教学の傾向(下)

干拓と漁民(下)

〔研究ノート〕近世初頭における
都市貴族の生活
〔資料紹介〕鳥羽僧正範俊解

東亞時論 二巻七号

中ソの理論的対立をめぐって、
国策共産主義と「戦争と平和」
の問題匿名対談

都市人民公社について
随筆 おたまじゃくしと時魚

椋樹の部落
中共党二大会と中国革命路
線

〔解説〕中ソ友好同盟相互援助条約とその
修正条件について資料・同条約全文
〔中共ノート〕書評〕公田蓮太郎述「荘
子」内篇講話

東洋史研究 十九巻一号

中国古代の麻織物生産

北魏前期の政治

張浚の富平出兵
―策武将対策の一環として観たる―
銀論の位置

アツバース朝における予算財
政について(下)

日本上古史研究 43

東三条院と東院について
僧医
―奈良時代の医薬―
桃太郎の昔話によせて

泉谷 康夫

藪田 香融

由比浜省吾

村山 修一

霞山会

編集部

木村 重

石田 一郎

菅原 道夫

東大寺工芸品目録

立命館文学 一八一号

近世歌論成立の前提条件

近世京都の材木輸送(上)

―梅津を中心とした三ヶ所仲間の歴史―
地理的考察

芥川竜之助伝
―家系について―

〔書評〕
アラビヤ人碑石考
―中国科学院編「泉州宗教石刻」を読む―

歴史評論 一一九

コナクリ会議によせて
特集 歴史家のみた六月四日
憲法をまもれ

〔書評・論文評〕

平田俊春氏「日本古典の成立
の研究」

牧健二氏「邪馬台国問題の解
決のために」の補説

彦根論叢 六八

村持山林の保護と山割制度
イギリスにおける最近の内部
監査事情

彦根融通会社の設立事情
菅浦文書(四一)

大和文化研究 27

日本密教の成立と南都仏教
諸尺度小考

応安七年の円覚寺火災と舍利殿
―円覚寺舍利殿三建論(二)―

〔資料〕

東大寺工芸品目録

立命館文学 一八一号

近世歌論成立の前提条件

近世京都の材木輸送(上)

―梅津を中心とした三ヶ所仲間の歴史―
地理的考察

芥川竜之助伝
―家系について―

〔書評〕
アラビヤ人碑石考
―中国科学院編「泉州宗教石刻」を読む―

歴史評論 一一九

山中 裕

伊野部 重一郎

彦根大学経済学会

原田 敏丸

可児島俊雄

高橋 久一

史料館

池田 源太

田村 吉永

川副 武胤

筒井 寛秀

岡崎 讓治

国崎望久太郎

水谷 清三

森本 修

東 庄平

民科歴史部会

上原 専祿

六月四日の夜中から朝まで
六・四統一行動に思う

九州の地方史研究(8)
―巻岐の古文書―

〔サークルだより〕たたら研
究会について

共同体理論の学習と教育実践
〔書評〕石母田・佐藤編「中
世の法と国家」

歴史教育の現場での問題点
読売「日本の歴史」六巻をよ
んで

中国における明治維新につい
ての討論(下)

享保改革における地方支配機
構の整備と農民対策(4)

ワイマール・デモクラシーとフ
アシズムについての研究ノート
―K.D.ブラッヒャー紹介によせて―

〔紹介〕F.C.ジョンズの「北
海道―その開発の現段階と将来
の見込み」について

〔新刊紹介〕「持統天皇」「社会経済史大
系」他、

〔昭和三十五年八月〕

日本上古史研究 四四

松本芳夫氏著「古代日本人の
思想」

梶原正昭氏他著「将門記」
研究と資料

井上光貞氏著「日本国家の起源」
村尾次郎「律令制の基調」

〔合集解〕講読覚書(五)
集解所引漢籍校訂稿(3)

塩田庄兵衛

太田 秀通

大口勇次郎

竹内 理三

向井 義郎

西塔 辰雄

内田 実

田中 充

大丸 義一

安藤鐘一郎

大石慎三郎

吉田 輝夫

奥山 亮

安津 素彦

林 陸朗

時野谷 滋

藪田 香融

奥村 郁三

北海道学芸大学紀要 一一一
平安政治史上における花山朝の評價

阿倍 猛

金融経済 六三

金融経済研究所

信託史の成果と現状(上)
「秋田銀行八十年史」について

麻島 昭一
岡田 和喜

〔昭和三十五年九月〕

大阪府立大学経済研究 十六

本庄栄治郎
黒羽兵治郎

近世大阪の菓種取引
奈良街道の駒村とその助郷

西村 孝夫

十六、七世紀の「香料諸島」
J.S.ミル社会主義の社会哲学的考察

福原 行三

田畑永代売買禁止令とその意義
幕末期における貿易思想の推移

竹安 繁治
藤井 定義

史苑 八二

立教大学史学会

アメリカにおけるナショナリズムの成長
革新主義運動の一考察

清水 博
有賀 貞

フアクトレッチ・システムから見たる旧南部の経済構造の一断面

西川 進

〔ノート〕
分離運動研究の一前提

富所 隆治

「ダモンド」の著作を中心における市民と村民

高橋 秀

イギリス革命における革命思想

若原 英明

仏教史学 八巻四号

福井 康順

平家物語の仏教史的考察
ラトナーカランチャーンドイの論理学書

梶山 雄一

〔学界動向〕
西域古代語仏典の研究(トカラ語)
〔書評〕
山田竜城「大乘仏教成立論序説」と「梵語仏典の諸文献」をよんで

井ノ口泰淳

親鸞 松野純著

岩本 裕

法然 田村円澄著

二葉 憲香

成隆大学政治経済論叢 十巻二号

高千穂徹兼

甲武鉄道二三の問題点を解く
明治期社会主義社と大正期労働運動

関島 久雄
川口 浩

成城文芸 二四

山田 俊雄

色葉字類抄に見える漢字の字体・用法の注記についての研究(一)

池辺 弥

倭名類聚抄郷名考証(一)
—大和国・河内国—

池田 博行

専修大学論集 二四

吉野 悟

古代ローマ法における usury-auctoritas の規定について

池田 博行

パキスタン回教共和国の農民分解と資本の系譜について

池田 博行

文化学年報 十輯
同志社大学文化学会

高田武四郎

マイスター・エックハルトに於ける神と存在
—Questions Parisiennes—
題の解説と研究

高田武四郎

甲南大学文学論集 十二

畑井 弘

鎮守の加地子領主化をめぐる
中世村落結合(惣)の動向

畑井 弘

文化史学 十五

歴史叙述への課題「ヒストリクス」からの反省
信貴山縁起絵巻「飛倉の巻」のモチーフに就いて
ローマ共和末期の社会
—とくに支配者層の結合関係について—
「柳子新論」とその思想的系列について
〔研究ノート〕
神人について

安藤 俊雄

笠井 昌昭

浅香 正
今中 寛司

〔史料紹介〕
今堀日吉神社文書(一)

仲村 研

〔昭和三十五年十月〕
国文学(風巻景次郎博士追悼号)

三品 彰英

「権立つらしも」の背後にあるもの
和銅六年五月甲子の官命「タマ」の姿
勅撰和歌集の詞書と立場
平兼盛伝記考
中世文学研究の課題
葉室家と俊成
紀要 九
相模女子大学学術研究会

吉永 登
秋本 吉郎
土橋 寛
阿部 秋生
藤岡 忠美
安良岡康作
谷山 茂

漢周氏盤偽考
神戸商科大学商大論集 三七・三八・三九
日比野勇夫博士退任記念論文集
「シチリアの晩鐘」についての考察
—十三世紀後半のシチリアをめぐる国際政局の動向—

鈴木 吉武

書陵部紀要 一二
源国信と恋昔百首
—堀河院歌壇の終讞—

橋本不美男

民間浄土思想の系譜に関する
試論

平林 盛得

空也布教の背景

田沼 睦

公家領荘園の研究
—十六世紀初頭における領主権と在地
状態—九条家領日根野荘の場合—

世襲親王家の継統について
—伏見宮貞行・邦頼兩親王の場合—

正倉院の綾
【史料紹介】「土右記」

西村 兵部

正倉院年報

武田家臣団の解体と藏前衆(下)

成城文芸 二二

村上 直

玉虫厨子の建築様式年代を白鳳
末期と見做すことは出来ない
—村田次郎博士の御説に重ねて疑義を
呈す—

上原 和

倭名類聚抄郷名考証
—序・山城国—

池辺 爾

聖心女子大学論叢 一五

沢田 和夫

トマス・アクイナス法について

原田 淑人

正倉院宝物雑考(その二)

内藤 智秀

中近東の国際関係史
—ヤコブ・ブルックハルトと
(イタリヤ・ルネッサンスの
文化)

木間瀬精三

東亜時論 二巻十号

霞山 会

東洋史研究 十九巻二号

田村 実造

特集 明代の北方問題
—天順・成化時代—

萩原 淳平

明初の北辺について

三田村泰助

明末清初の満洲民族とその源流
建州女直の移動問題

河内 良弘

明代の民壯と北辺防衛

岩見 宏

日本歴史 一四八

林家史学と白石史学
近世の参宮(下)

宮崎 道生

日向国建久阿田帳小考
日本政党政治の成立をめぐる
問題性(一)

新城 常三

森有礼と兵式体操
改進黨の創立者及び理論家小
野粹

五味 克夫

武田家臣団の解体と藏前衆(下)
安政の日米条約は果して不平
等条約か

金原 左門

文永の役に蒙古軍はロケット
を使用したか?

鈴木 健一

J・シュッテ師「マドリイ史
学」土院コルテス目録—並びに
王宮武器庫の日本武具に就て

荒木 秀俊

近江常楽寺二十八部衆について
条里制研究文献目録 佐伯有清・落合重信編

坂田 精一

白山史学 六・七 東洋大学白山史学会
—動向—

松田 毅一

神仏分離の一考察
—上代地方豪族吉備氏に関する
史料—

宇野 茂樹

令義解索引稿
彦根論叢 七〇・七一・七二
滋賀大学経済学会

石井 英雄

江頭恒治博士還暦記念論文集
—伝記と民俗史—

青山 吉信

「マクス・シェーラーの「人間学」を回
顧して—
清代満洲における貨幣流通と
経済循環

千葉 栄

近江甲賀地方における山割制度
差額地代にかんする平均説
十九世紀後半におけるドイツ
農業政策思想の展開
江頭恒治博士略歴・著作目録
法政史学 一三
ポニファチウスの政治的活動
について
聖田永世私財法について
明治初期の対露警戒論に關す
る一考察
蘭学者の地域的階層的研究
庄屋の地位について
曹洞教団の近世的發展
松代藩の崩壊
壬申の乱における兵力について
辺境「在家」の歴史的格につ
いての一試論
蛮社の獄について
後北条氏の農村支配について
立命館文学 一八四
漢代の田租と災害による其の
減税(下の上)
建安詩壇の形成過程について(一)
近世農村構造に関する一考察
—但馬国出石郡下郷の場合—
【書評】
小野川秀美「清末政治思想研究」
歴史研究 二九 茨木大学史学会
水戸藩の紙専売法に關する
一考察(下)
常陸太田市増井町正宗寺文書
について
常陸の埴の窯址

亀田 隆之

大谷孝太郎

石田 興平

豊崎 卓

原田 敏丸

白杉庄一郎

安達新九郎

竹内 直良

丸山 忠綱

安岡 昭男

片桐 一男

高木 計

渡辺 康昌

新井わか子

星野 良作

村川幸三郎

福島富喜子

守谷 樹彦

平中 荅次

松本 幸男

小山富貴代

内藤 戊申

瀬谷 義彦

宮田 俊彦

平安末期における稽古思想の展開

中村 宏

清原頼業の大外記活動を通じて

中村 成男

天朝田畝制度の実施問題

野上 平

羅爾綱氏の論文を中心に

野上 平

水戸藩における灌漑水利について

野上 平

久慈川筋辰之口用水の場合

野上 平

歴史評論 一二二

野上 平

現代史の課題

今堀 誠二

第六回原水爆禁止世界大会の展望

今堀 誠二

国民と歴史学との新しい関係

中塚 明

天武八姓の歴史的意義(上)

原島 礼二

論集 二二

原島 礼二

ペンテコステ事件の歴史的背景について

田中左右吉

〔昭和三十五年十一月〕

田中左右吉

秋大史学 一一

桜井徳太郎

智の立場

桜井徳太郎

石門心学の成立

甲斐 広子

「創造美術協会創立の歴史

武埜林太郎

東北における寛政改革の問題

高橋 秀夫

高梨村の研究(下)

高橋 秀夫

感想文にあらわれた歴史的思考力の諸問題

柴田 次男

大阪経大論集 二九

柴田 次男

お茶の水史学 三

渡辺しづ子

48年以後のルイ・ブラン

鯨井 允子

一八五三年長江下流域の農民

鯨井 允子

起義

鯨井 允子

「報告と紹介」

日本史ゼミ

「令集解」演習報告

木村 寺木

山東菜陽事変とその資料

木村 寺木

R・ウィットラムの「世界史の可能性」

木村 寺木

西洋史三年

木村 寺木

顕真学苑論集 五一

橘 哲哉

日本往生極楽記考

梅原 隆章

明治維新における富山藩合寺

梅原 隆章

事件資料

梅原 隆章

初期の仏教青年会

梅原 隆章

時宗関係文献目録

高千穂徹乘

弘前大学国史研究 二二三

高千穂徹乘

津軽信政特輯号

高千穂徹乘

津軽信政時代における法令の

蝦名 庸一

整備

蝦名 庸一

農民統制を中心に

佐藤 仁

信政時代における交通問題

佐藤 仁

土木事業を中心として

佐藤 仁

唐代府兵制度拾遺

菊池 英夫

〔研究ノート〕

越智 武臣

英国地方史研究文献(一)

越智 武臣

イーストライディング・オブ・ヨー

越智 武臣

クシアの場合

越智 武臣

「書評」

越智 武臣

奈良国立文化財研究所編「川

岸 俊男

原寺発掘調査報告」

岸 俊男

史論 八

岸 俊男

東京女子大学史学研究室

山根 幸夫

明清時代華北における定期市

山根 幸夫

太平乱における団練

伊藤三千枝

湖南省を中心として

伊藤三千枝

近世三井家の商業使用人

伊藤三千枝

加賀藩の山廻役

伊藤三千枝

「サントスの御作業」国字本の

伊藤三千枝

脱落

伊藤三千枝

キッティム論考 Ⅱ

三笠宮崇仁

ターナー学説におけるナシヨ

三笠宮崇仁

ナリズムとセクシヨナリズム

三笠宮崇仁

人文学報 八

三笠宮崇仁

京都大学人文科学研究所

三笠宮崇仁

戒師招請について

伎楽面の研究

東大寺建築関係論著目録

日本上古史研究 四七

大宝律令と「古答」について

〔評論〕

「邪馬台国問題の解決のための補説」に対する批判に答える

出雲国風土記の成立について

―田中卓氏の論説に関する疑義―

仏教史学 九巻一号

中国仏教と祖先崇拜

〔研究動向〕

セイロン仏教世界の現況

インド仏教滅亡時の事情をつたえるチベット文の一資料

インドでみた密教的美術

〔書評〕

E. Lamotte: Histoire du Bouddhisme Indien des Origine a L'ere Saka

E. Zurcher: The Buddhist Conquest of China

重松明久・往生伝の研究

大和文化的研究 三二

尺八新考

「華嚴入法界品善財參問變相経」及解題

立命館文学 一八五

江原真伍先生喜寿記念特輯号

日本に於けるナウマン博士

佐久間 竜

林 謙三

岡 直己

山本 栄吉

利光三津夫

牧 健二

押部 佳周

道端 良秀

金岡 秀友

桜部 建

佐和 隆研

佐々木教悟

宮川 尚志

西口 順子

林 謙三

梅津 次郎

江原 真伍

交通路の位置の持続と変化

―とくに山地について―

〔書評〕

藤岡謙二郎著「都市と交通路の歴史地理学的研究」

歴史評論 一三五

総合的歴史観への一提言

九州の地方史研究

―西肥地区(一)―

歴史地理学の諸問題

―地理学の独自性と有効性について―

進化論と中国の近代思想(一)

国民と歴史学との新しい関係(一)

一九一八年米騒動における階級対立(上)

天武八姓の歴史的意義(下)

フッシャー・ゲッペルスとヒムラー

近代史(一)(下)について

東洋学研究所編「日本近代史」(一)(下)について

フッシャー・ゲッペルスとヒムラー

〔昭和三十五年十二月〕

青山経済論集 十二巻三号

唯物史観の再吟味(3)

宗門御改并人別帳についての覚え書

―信濃国諏訪郡橋原村―

岩手史学研究 三五

地域に於ける交通とその時と

その時間距離に関する考察

奥州中世豪族と日蓮宗及び古宗

〔資料紹介〕

岩手町一方井大森どしの沢小堂址

山口平四郎

樋口 節夫

堀米 庸三

竹内 理三

中丸 和伯

伊藤 秀一

中塚 明

天野 卓郎

原島 礼二

伊豆 公夫

吉田 輝夫

藤野 秀吾

日下 平八

金丸 久富

成瀬 久富

小川 博三

及川 大溪

草間 俊一

藩政末期に於ける河原煙草の集散

後藤寿庵の出自と教系について

〔研究ノート〕

ビスマルクの年金保俣の成立過程

〔書評〕

地方史研究協議会編「日本産業史大系」(3) 東北地方篇

川本忠平他著「郷土の地理」

2 東北篇 I

甲斐史学 一三

〔研究論文〕

近世甲州における農業災害と農家経済

―取米の変動と災害復旧事業の過程をめぐって―

天保期村方騒動とその社会的背景

山梨農民騒動史(四)

―太極事件―

日蓮と南部夷長との関係

甲斐武田史(四)

戊辰時の甲州官軍編成隊一覽

甲府城御金蔵の由来

甲斐近世史料目録(第一三回)

―西八代郡・南都留郡・東山梨郡・東八代郡―

鹿大史学 八

薩摩国御家人比志島氏について

―「さつま」の「かくれ念仏」―

刑部・魏収の生卒年

菊地 万雄

司東 真雄

西岡 幸泰

山田 安彦

山田 安彦

山田 安彦

斎藤 博

藤原 昭夫

竹川 義徳

町田 是正

中沢しんいち

中島 正行

上条 馨

五味 克夫

桃園 恵真

増村 宏

シャドソン氏の二八二六年刊
編英辞典と和語文典について
—E. P. クウイグリ氏の研究に寄せて—
—イゴリ遠征物語—への疑問
—偽作説について—

萩原 弘明
奥田 明子

研究彙報 四輯 日本大学文学部史学会
明・清時代都市区画考(一)「隅」
の構造と分布

倉持徳一郎
猿谷 要

自由黒人の生活とその才能に
ついて
明治解放令発布の事情について

渡辺 実
賀川 光夫

琉球列島の先史文化の一考察
—ア. エン・ア. トン
近世下野園町田村における水利問題

飯島 正義
遠藤 敬子

幕末北蝦夷地場所開拓の史料
学生諸子のために(一)
—神奈川県白幡西貝塚調査報告書—

石田幹之助
考古学研究会

弘前大学国史研究 二四
津軽銀小考

伊東多三郎
宮本 真澄

乳井貢の経済思想について
—岩見文庫目録—

立教大学史学会
大久保利謙

史苑 八三
文書から見た幕末明治初期の政治

海老沢有道
中田 栄一

阿部真造
—維新前後における一知識人の足跡—
機業園の地理的基底
—関東地方における事例から—
新潟県頸城古墳群の調査
—後期古墳群の研究(一)—

中川 成夫
岡本 勇

立教大学史学会大会公開講演要旨
封建制から資本制への移行
—第十一回国際歴史学会議をめぐって—
史学 三三卷一号

高橋幸八郎
三田史学会

文献に現われた蝦夷の称呼に
ついて
—異文化共存に関する一試論—
平安時代に於ける白居易受容
の史的考察(下)

清水 潤三
太田 次男

費信の見聞した十五世紀初頭の
南海(漁事漁業資料とした)
みた星槎勝覧の価値
—青森県八戸市日計遺跡
反町文書(五)—
第二回長州征伐の芸州藩士の陣中日記

可児 弘明
笹津 備洋

Hellenistic Culture: Its Fusion
and diffusion by Moses Hadas
港区史

武田 勝蔵
小川 定雄

史観 六〇
—中世における東国農民の支配
形態—
—唐の画家韓幹
十六世紀フランスにおける反
イタリヤ主義運動とマキユア
ヴェリ
—(史料紹介)
大井憲太郎意見書
—(書評)—
西村朝日太郎著『文化人類学
論攷』
西村朝日太郎著『人類学的文
化像』
栗原朋信著『秦漢史の研究』

早稲田大学史学会編
会田 倉吉

長島 健
奥野 中彦

新井 慎一
由井 正良

水野 祐
井上 晃

小林 昇
中原 道子

小杉一雄著『中国文様史の研究』
林天蔚著『宋代香葉貿易史稿』
史迹と美術 三二〇
東大寺の中門堂と指図堂
—広隆寺弥勒像弘仁九年以後輸
入説—
日本上代仏像彫刻に樟材を用
いた理由(新稿)
—成城文芸 二四—
色葉字類抄に見える漢字の字
体・用法の注記についての研
究(一)
—倭名類聚抄郷名考証(一)
—大和国・河内国—
天理大学学報 三三三
—ゲルマン借用語彙考
—ゲルト・ゲルマンをめぐる若干の事
例について—
古代の東スラヴ人(一)
—六世紀〜九世紀を中心として—
『宇都保物語』古活字本系本文
の成立
—西遊記研究論文目録
—桐朋学報 一〇—
在家仏教の成立
享保改革について
—東方古代研究 一〇—
宋齊時代における皇帝と士大夫
—鐔(さびつえ)考
—大化の「紹」の調について
—「田の調」「戸の調」を中心として—
—東洋史研究 一九の三
—明初江南の官田について(上)—
—蘇州・松江二府におけるその具体像—

山本 栄吾
田中 重久

荻田嘉一郎
山田 俊雄

池辺 弥
木村 昭男

松村 四郎
中村 忠行

鳥居 久靖
宮井 義雄

土肥 鑑高
越智 重明

乙益 重隆
辰雄

森 正夫

清代における端布業の経営形態(上)

清初の文館について

夏税・秋税の源流

〔学界展望〕

土地制度問題をめぐる宋代研究の動き

―周藤吉之教授の業績を中心として―

日本上古史研究 四八

檀越について

日本紀略における關名の註の省略と存続

―紀略編者についての研究の一試案―

藤岡謙二郎氏著「都市と交通路の歴史地理学的研究」

北陸史学 九

ウィットテの革命観

呉越仏教の一考察

加賀藩大保期藩政の動向について

昌平饗に遊学せる加賀藩士

〔書評〕

阿部重雄著「ビョートル大帝」

―ロシアのあけぼの―

八田健一編「吉藤専光寺史」

サウア著「農業の起源」

山口大学文学会誌 一一巻二号

藤原広嗣の叛乱

大和文化研究 三二

春日国、春日郷、春日庄

平城京の条坊の劃定

〔資料〕

訳註入唐求法巡礼行稿(四)

横山 英

神田 信夫

古賀 登

梅原 郁

五島 正樹

柳 宏吉

山田 安彦

阿部 重雄

杉谷 恵昭

小林 康敏

水上 一久

西井 克己

浅香 年木

相沢 昂

八木 充

永島福太郎

大井重二郎

小野 勝年

役行者図

金光寺阿弥陀如来像

歴史評論 一二四

九州の地方史研究(4) 西肥地区の(4)長崎

農民一揆研究史の視点

ギニアの過去と現在

ブルジョワ民主主義の歴史学と「えせ」ブルジョア史学

―ピレンヌ原著「ヨーロッパ世界の誕生」によせて―

〔書評〕

山上正太郎著「ウィンストン・チャーチル」

信夫清三郎・渡辺徹・小山弘健編「現代反体制運動史」全三巻

進化論と中国の近代思想(4)

日本近代思想とプロテスタントリズム

―大正政変をめぐって―

一八一八年米騒動における階級対立(下)

―広島県可部町の事例について―

立命館文学 一八六

志賀重昂論(上)

建安詩壇の形成過程について(4)

唐才子伝巻第六注

〔書評〕

日本史研究会編「歴史における芸術と社会」

歴史学論集 四集

山梨大学歴史学教室

弟子(一)孔子説話の思想史的研究その九

蝦夷地七重村開墾条約顛末

松村 政雄

杉山 二郎

竹内 理三

高橋 秀夫

張自忠・林基沢

椽川 一郎

斎藤 孝

犬丸 義一

伊藤 秀一

斎藤 秀夫

天野 卓郎

岩井 忠熊

松本 幸男

布目 潮風

畦地 享平

横井 清

渡辺 卓

丸山 国雄

氏女制度の一考察

漢唐の間の家人という言葉について

新田村落における本・分家關係

甲州巨摩郡浅尾新田雜記

歴史の研究 八

米沢藩の知行制度

―相給的知行形態の意味―

藩政成立期の在町

―米沢藩の場合―

木地屋の生活

新庄藩における藩政後期の百姓騒動について

―川ノ内村騒動を中心に―

〔昭和三十六年一月〕

金沢大学法文学部論集 八

藩政初期における加賀官腰港について

加賀における後期古墳の歴史的意義

―古墳時代における地方の政治勢力(4)―

史実と見なされ来たつた中国古代の地震記事に対する批判

―特に國語を中心として―

駒込大学 九

ドイツ宗教改革の勃発

各国の西域探検と仏教(下)

南宋の芋麻布生産とその流通過程

宋代仏日契嵩について(下)

近世における農村の人口の減少とその対策

信仰を通じてみた武田信玄上杉謙信の比較研究

磯貝 正義

浜口 重國

服部 治則

山形歴史学会

榎本 宗次

横山 昭男

伊豆田忠悦

大友 義助

水上 一久

下出 積与

慶松 光雄

渡辺 茂

岩井 大憲

周藤 吉之

阿倍 肇一

菊地 祐吾

山口 祐哉

史学会報 七 大阪学芸大学歴史学会

大塩平八郎の乱に関する疑問 浅井 由彦

今日における歴史教育の課題と問題点 奈良本辰也

「茶の本」に於ける日本の思想 松井慶四郎

史林 一八五 有泉 貞夫

維新前後の領土支配と農民諸階層 田原 嗣郎

幕末国学思想の一類型 田原 嗣郎

—大園隆正についての断面的考察— 宮川 尚志

六朝時代の巫俗 山内 正博

南宋の四川における張浚と吳玠 山内 正博

—その勢力交替の過程を中心として— 松浦 道一

ピーコックの立場(上) 松浦 道一

—十五世紀中葉における宗教論争について—

〔書評〕 安田元久編 日本封建制成立の諸前提 工藤 敬一

商大論集 四〇 神戸商科大学学術研究会

垂水遊女塚宝篋印塔銘の訓み方 長部 和雄

江戸時代末期の鶴林寺 東郷 松郎

専修大学論集 二五 上野 修

社会主義リアリスト・アンナ・ゼーガース

東亜時論 三卷一号 滝川政次郎

隨筆「海東君子国」は真か偽か 日本上古史研究 四九 藪田嘉一郎

釈「問人」 伊野部重一郎

八爪入日子王の名について 栗原 薫

『真説日本歴史二』、『万葉の世の中』 山本 栄吾

筏敷氏「正倉院大宝・養老戸籍の人名語の索引」について 吉永 登

大和文化研究 三三三 滝川政次郎

甞禊考 佐々木剛三

錢弘俶八万四千塔に関する一、二問題について 堀池 春峰

〔資料〕 唐招提寺藏大安寺勧進帳に就いて 田中 稔

東大寺東塔復興造営について 二、三の問題

歴史評論 一二五 西野 英礼

日中關係における台湾の位置 —植民地の傷痕と「台湾独立運動」の本質— 西野 英礼

コンゴ問題の背景 —ルムンバの悲劇— 西野 照太郎

ラオスの中立主義とその基盤(一) —独立国独立の一類型— 真保潤一郎

九州の地方史研究(六) 竹内 理三

—西肥地区の(台)長崎・高来地方— 森田 雄一

一揆史料としての幕府刑事裁判史料 森田 雄一

—御仕置例類集・諸処刑調査について— 謙吉

部落解放運動の先駆け 沼 潤

維新时期農村工業の存在形態 大林 秀弥

—「官部焼」窯業経営の事例について— 大林 秀弥

立命館文学 一八七 土岐 武治

提中納言物語の研究史的考察 土岐 武治

—岩下貞融の研究について—

明治唯物論の二つの文獻 船山 信一

—津田真道の「唯物論」と「国民新聞」における統一年有半批判—

〔昭和三十六年二月〕 岐阜史学 三〇

岐阜史学総目次(第一号—三〇号) 吉岡 勲

昭和三十五年度地方史岐阜県 足立 直次

研究の回顧と展望 長良川の川筋変移に関する天文3年説について アカデミア 三〇

明夷待訪録の基本思想 南山 大学

課題としての「宗教改革」 佐藤 震二

—一つの史学史的反省— 沢田 昭夫

史学 三三三卷二号 三田史学会

殷中期とされている鄭州出土古銅器の性質 梅原 未治

Commission des Substances 鈴木 泰平

の通商政策に関する一研究 清水 潤三

—東北地方における考古学の成果と蝦夷の種族論— 大沢 一雄

阮朝嗣帝帝土匪対策と黒旗軍 松本 芳夫

—中世文学と熊野— 木村 宗吉

ラオスの王子、召温猛について 米田 治

〔批評と紹介〕 Voltaire Historian by J.H. Brumfit 伊藤 清司

白族民間故事伝説集 藪田嘉一郎

史迹と美術 三一一号 光明皇后の性格(上) 今井 啓一

—衆教論の署名と関連して— 遠江国式内敬満神社大神を中 心として

秦原郡式内敬満神社大神を中 心として

土佐の古鑑

聖心女子大學紀要 一六

世阿弥の能における演劇

正倉院宝物雜考(その三)

近世城下町の形成と転換

ユークリッドの本(3)

日本上古史研究 五〇

『令集解』講読覽書(4) 集解所引漢籍校訂稿(4)

〔論評〕

『持統十年度戸籍』の人名語の推定について

—吉永登博士の御書評に答へて—

日本歴史 一五二

親鸞の妻帯について

文永・弘安の役の経過について

白河院近臣団の一考察

京戸田について

浄土宗三代の確立

〔考古学〕日本考古学上の問題点無土器文化

〔論評〕戸令・戸籍・計帳(中)

〔講座〕日本荘園史(第三十一講)

弘前大学国史研究 二五

津軽信政とその文教

津軽信政治下における藩士の生活の一考察

津軽信政関係文献目録抄

明治学院論叢經濟研究 一二

坪井 良平

谷 宏

原田 淑人

助野健太郎

田中 正夫

奥村 郁三

篠 勲

赤松 俊秀

山口 修

河野 房雄

阿部 猛

鈴木 成元

芹沢 長介

竹内理三・井上光貞

土田直鎮・青木和夫

池田温

羽賀与七郎

鈴木 昭子

台湾・山地区社会におけるキリスト教受容

—その歴史的・社会的素描—

大和文化研究 三四

正寿院不動明玉像と決慶

川副氏の「円覚寺舍利殿の年代」について

仁和寺の巨勢家譜について

〔資料〕

法園寺薬師如来坐像

立命館文学 一八八

建安詩壇の形成過程について(4)

歴史評論 一二六

特集 世界史教育の新段階

歴史の見方・世界の見方から

「指導要領」まで

世界史教科書における現代史の記述について(4)

ラテン・アメリカの民族解放運動

—ヒューバーマン・スウィーシー『キユービー』によせて—

ラオスの中立主義とその基盤(4)

—後進国独立の一類型—

九州の地方史研究(4)

—北肥地区(一)—

明治十年代における酒造業の動向

—酒屋会議をめぐって—

室町時代の天皇について

論集 二二

キリスト教と異教的社会日本との間の距離の問題

デロス同盟成立期における貢税額について

工藤 英一

毛利 久

大田博太郎

田能村忠雄

上原 昭一

松本 幸男

吉田 悟郎

吉田 金一

他三名

岡部 広治

真保潤一郎

竹内 理三

長倉 保

北爪真佐夫

神戸女子学院

溝口 靖夫

鈴木 雅也

〔昭和三十六年三月〕

紀州經濟史研究叢書 第11輯

成石勘三郎の獄中「感想録」に

ついて

—和歌山県における初期社会主義運動(3)—

青山經濟論集 一二卷四号

唯物史観の再吟味(4)

青山法學論集 二卷二号

ドイツ憲法思想史研究(4)

—ドイッ憲法思想史研究(4)—

鈴木安藏著「法律史」

アカデミア 三一

Latcastio Hearn Japanbild

我が国のスキの発展について

岩手史學研究 三六

北上川流域における仙台領谷起紛争

文化期における一閣藩の政治

玉葉に見る藤原秀衡の評判

平糠遺跡出土・縄文土器について

〔書評〕

森嘉兵衛著編「岩手県中世文書」上巻

内村一三編著「岩手の県政八十年」

大阪経大論集 三〇

劔先船に関する紛争

淀川治水をめぐる領主と農民(4)

十四・五世紀におけるトスカナ地方の簿記(4)

関山直太郎

日下 藤吾

小林 孝輔

小林 孝輔

小林 孝輔

Erwin Jahn

川口 光雄

大島 英介

八卷 一雄

及川 大溪

亀沢 磐

草間 俊一

沢田 勝郎

黒羽兵治郎

木村 武夫

泉谷 勝美

研究 二五 神戸大学文学会

寛永期河内の綿作農村について 高尾 一彦

研究叢書 第四 共立女子大学文学会芸術研究所

宇都保物語の一考察 小野村洋子

甲南大学文学会論集 一四 和田 邦平

常民の生活と民芸 和田 邦平

古代 三六 早稲田大学考古学会

千葉県成田市荒海貝塚 西村 正衛

―東部関東地方縄文文化終末期の研究― 栗原 文蔵

埼玉県寄居町発見の古式土師器 横川 好富

新潟県北蒲原郡豊浦村 中川成夫・岡本 勇

の考古学的調査予報 倉田芳郎・田村晃一

先島の土器 瀧口 宏

相模女子大学紀要 一〇 松原 純一

明治期の公共図書館 大阪学芸大学歴史学会

史学会報 八 西川 清

院政成立の諸前提 矢柴 宏子

近代日本とキリスト教 内村 宏子

鑑三に於ける平和思想の展開 末広 孝

君主論にあらわれたマキアヴェリ思想 早稲田大学史学会

史観 六一 鈴木 成高

カロリング・ルネサンス 松島 栄一

算作元八の「在独日記」について 鹿野 政直

―近代日本史学史の一齣― 杉山 清彦

明治社会における法意識 岩手県水沢市杉の堂遺跡調査 杉山 清彦

概報 長島 健

〔書評〕 安藤更生著「鑑真大和上伝之研究」

水野祐著「日本民族の源流」 桜井 清彦

史艸 創刊号 日本女子大学史学研究会

近世初頭における特権商人の性格 西村 圭子

―博多商人を中心として― 五十嵐珠恵

辛亥革命と日本および日本人 西村 圭子

―南北妥協への過程における日本の対応―

一九〇一年の「英独同盟」問題(I) 小西 厚子

条約改正史初期の諸問題について 伊香輪純子

ワイマール共和国の国家指導問題に関して 戸田三三冬

〔紹介と批評〕 小野川秀美著「清末政治思想史」 木村寿賀子

インドにおけるブーダン運動をめぐって 菊川 暎子

―Yinoba Bhavé の “Bhoodan Yajna” にみられる思想を中心として― 日垣 裕子

テオドール・マイヤー著「近代国家成立論」 京都大学教養部

人文 七 中原与茂九郎

難記帳 佐々木高明

―奴隷の解放・売買その他―

焼畑におけるイモ栽培について 河野 健二

―根茎耕作文化の民族地理的研究序説―

中江兆民の経済思想 河野 健二

駿台史学 一 関野 雄

竜山文化の解明 関野 雄

―阿蘇神話の場合― 圭室 諦成

局地神話の研究 堀 敏一

朱全忠政権の性格

「フランスの戦い」をめぐる英仏関係 山上正太郎

―ウィンストン・チャーチルにかんするノートから― 杉本 敏夫

譜代佐倉藩の解体過程 望月 董弘

―その廢藩置県への道程― 石井 素介

駿河の条理制について 飛騨山村における林野利用の展開

The Rise of Capitalist Agriculture in England T. Hallinan

〔資料紹介〕 「那須開墾社」その株主と移住者

日本の水河周辺地形の研究 松本 和夫

三角縁神獸鏡の新例 小崎 尚

史林 一八六 小林 三郎

近世畿内農業と牛流通(上) 酒井 一

―河内駒ヶ谷市を中心として―

いわゆる「日本型賃金体系」および「日本型労働組合」の端緒的成立 佐々木隆爾

西魏時代の敦煌計帳戸籍に関する二・三の問題 西村 元佑

ピーコックの立場(下) 松浦 道一

―十五世紀中葉に於ける宗教論争について―

東国出身の防人達 曾我部静雄

門脇楨二著 日本古代共合体 塩沢 君夫

の研究 T. Keith Horsfield: British Monetary Experiments 1650-1710 合田 祐作

藤岡謙二郎著 都市と交通路 谷岡 武雄

の歴史地理学的研究 彦根史上冊、本宮地方文化史図説、後漢書語彙集成上

成蹊大学政治経済論集 一〇巻四号
ドラルカ！企業論の研究 増地 昭男
—フォーディズムとの関係について—
成城文芸 二五

「平家物語享史年表中世」追補 福田 秀一
感動と古代史 今井富士雄
—福士幸次郎先生に—
十八世紀に栄えた英国の伝記 佐野 英一
と手紙
—文学史的な伝統あとの試み—

東亜時論 三巻三号
中共の古典劇 同 編集部
東方学 二一
若木攻
—桑樹信仰の起源的考察—
論語鄭注における「魯説従古」
例の新資料

杜牧の詠史詩について 新美 保秀
五代節度使府の糧料使について 山内 春夫
宋代における大学篇表章の始末 室永 芳三
東坡の詩量論について 戸田豊三郎
南宋の田骨・屋骨・園骨につ 船津 富彦
いて 周藤 吉之
—特に改典就売との関係—

明代内閣制度の成立 山本 隆義
明代馬政の一考察 谷光 隆
—北直隸における備用馬の起解と馬価
銀の折納—
アバヤギリ寺(Abhayagiri-vihara)
の興亡史 早島 鏡正
—諸王朝時代の遺蹟—

東洋史研究 一九巻四号 山本 達郎
明初江南の官田について(下) 森 正夫
—蘇州・松江二府におけるその具体像—

清代における綿布業の経営形 横山 英
態(下) 内藤 成申
—江康年伝稿之二—
強学会紀事 田中 謙二
—直隸訳体における白話につ
いて—
—元典章おぼえがき—
—商品生産と地主制をめぐる研究—
—明清社会経済研究史の諸問題
—
—中国見聞記—

日本上古史研究 五一号 島田 虔治
楚割考 滝川政次郎
倭武天皇をめぐる諸問題 米沢 康
いわれる「継体・欽明朝」の諸 二宮 正彦
問題(上) 新野 直吉
—(論文評)—
—「論文評」—

安井良三氏『日本における古代 坂詰 秀一
火葬墓の分類』
仏教史学 九巻二号 千葉 乗隆
—真宗門徒の組織—
—特に忽・譚について—
—靈異記の歴史意識—
—元代の五台山仏教について
—
—(史料紹介)—

叡山文庫蔵「円頓三聚一心戒」 多賀 宗準
—(書評)—
赤松俊秀編 教王護国寺文書巻一 豊田 武
酒井忠夫著 中国善書の研究 牧田 諦亮
民俗 四巻五号 日本民家集落博物館
—政治と神観念の生成— 鳥越憲三郎
—琉球宗教の研究—
—吉野の漆掻き— 岸田 定雄

外来信仰の民間伝承化につい 上井 久義
て—牛頭人神の神をめぐる—
—牛神の信仰—
—(資料ノート)—
—枚岡神社の粥占—
—横行のイガキさん—
—歴史評論— 一二七

現代史における「大國」と小國 斎藤 孝
の問題(一)
九州の地方史研究(四)北肥地 竹内 理三
区(四)
明治国家成立過程をめぐる國 森田 康夫
家論の展開 一八一—二六六年のスペイン 阿尔ペロ
—一八一—二六六年のスペイン 領アメリカ植民地の解放戦争 林基 ヴィンチ
について 訳

龍谷史壇 四七
本願寺に於ける阿弥陀像の安 宮崎 円遵
置と両堂の整備
三帖和讃古写諸本の性格 安藤 智純
吐魯番出土葬送用文書の一考察 小田 義久
—特に「五道大神」について—
—(書評)—
—(丹波の歴史)—

鹿苑 大慈

昭和三十六年度

史学科関係主要授業科目目

大学院 (日本史学専攻)

古代史研究〈演習一〉

末永雅雄

古代史研究〈演習二〉

横田健一

考古学研究

末永雅雄

中世史研究〈演習一〉

永島福太郎

中世史研究〈演習二〉

横田健一

中世史研究

石浜純太郎

近世史演習〈演習一〉

時野谷 勝

近世史研究

三上諦 聰

西洋文化史研究

柴田 実

西洋文化史研究 一

原 弘二 郎

西洋文化史研究二 大小島真二

西洋文化史研究三 藤本 是

哲学及哲学史研究 田中 照

美学及美術史研究 辻部政太郎

国文学史研究 島田 退藏

比較文化史研究 原 弘二 郎

文学部 (専門教育)

史学 概論 横田健一

日本史概説 有田隆道

東洋史概説 三上諦 聰

西洋史概説 原 弘二 郎

人文地理学概説 樋口節 夫

考古学概論 末永雅雄

自然地理学概説 木村春 彦

(日本史専攻)

日本史料講読 竹田 聰 州

日本史特殊講義 A 藺田香 融

日本史特殊講義 B 柴田 実

古文書学 岡本良一

日本史演習一 有坂隆道

日本史演習二 横田健一

(東洋史専攻)

東洋史料講読 狩野直禎

東洋史特殊講義 A 内田吟 風

東洋史特殊講義 B 森 鹿三

東洋史演習一 大庭 脩

東洋史演習二 三上諦 聰

(西洋史専攻)

西洋史籍講読 加藤一 朗

西洋史特殊講義 A 加藤一 朗

西洋史特殊講義 B 猪谷文 臣

西洋史演習一 秋山博 愛

西洋史演習二 原 弘二 郎

(一般教育)

日本史 有坂隆道

世界史一 加藤一 朗

世界史二 大庭 脩